

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

b11ft

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

b11ft

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれも無い。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

北海道反原発連合アンケート・回答（別紙）

1の回答

2012年9月7日に「国民連合」を構成する各党により共同提出した「脱原発基本法案」を成立させ、2022年3月11日までの『原発ゼロ』を目指す。

脱原発の機運が高まっている今、『原発ゼロ』はあくまで現実論、具体論に沿って進められなければならない。原発に替わり得るクリーンエネルギーは天然ガス。その天然ガスを豊富に有しているのはロシアであり、ロシアの極東、サハリン地域は代表的な供給地である。北海道と目と鼻の先にあるという地理的利点を十分に活かし、天然ガスの安定的供給を構築すべきであり、廃炉に向けた様々な研究開発の推進を図る。

2の回答

脱原発の推進にあたり、配慮しなければならないのは原発立地自治体の状況である。地域住民の判断、そして、その自治体の財政状況等を十分に勘案し、代替産業の育成等、地元が納得できるような振興を図りながら、脱原発を進めるべきである。

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- ・断固として認められない。
- ・慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

- ・知っている。
- ・知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いませんか？

- ・参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)
- ・機会があれば参加したい
- ・考えていない
- ・参加したくない。

氏名 / 区 清水女3区、3区 町川、4区 苫米地菜人

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。